

株式会社 イヌイエコシステム

2024 年度 環境経営レポート

(取組期間 2024 年1 月1 日～ 2024 年12月31日)



作成日: 2025年1月31日
更新日: 2025年1月31日

目 次

項 目	ページ
あいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
認証・登録の対象組織・活動	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
許可の内容	6
主な環境負荷の実績	7
環境経営目標及びその実績	
環境経営計画の取組結果とその評価	8～10
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	10
緊急事態対応訓練	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	11
これまでの環境活動の紹介	11



株式会社イヌイエコシステムは、気候温暖な紀伊山脈の麓にあり南方面に霊峰高野山を仰ぐ橋本市に位置します。一般廃棄物・産業廃棄物処理および土木・建築事業を営む企業です。

私たちは顧客のご要望にお応えすることを通じ、地域社会の発展に貢献します。まだまだ、新規参入企業であり発展途上です。前代表乾芳之が大切に掲げてきた『明るく・元気に・きれいに』を合言葉に、働くもの一同は力を合わせより良い会社づくりをすすめます。お客様に感謝、御縁に感謝、従業員と家族に感謝し、これから先、100年続く企業をめざします。

環境経営方針

<環境経営理念>

弊社は、一般廃棄物・産業廃棄物処理および建設事業を営むにあたって『安全安心に効率よくタイムリーにすすめる』ことを通じ、従業員一同が自主的・積極的に一丸となって環境保全のために継続的な改善をめざします。

環境省が提唱する中小事業者向けの環境マネジメントシステム『エコアクション21』の取り組みを実践し、温暖化防止にチャレンジします。その一端を環境経営レポートにまとめました。みなさまのご賢察をお聞かせいただければと願います。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制等及び当社が約束したことを遵守します。
2. 二酸化炭素の削減(電気および化石燃料)に努めます。
3. 受託再生資源の取扱量の向上および建設混合廃棄物の削減に努めます。
4. 水資源保護のため適正な利用に努めます。
5. 建設工事や廃棄物処理での環境配慮の充実で、顧客件数の拡大をめざします。
6. 会社周辺の清掃および地域の環境保全活動に参加します。
7. この環境方針を公開し、全従業員に周知します。

制定日：2019年10月1日

改定日：2023年1月1日

代表取締役社長 **乾 嘉晃**

□組織の概要

P4

- (1) 名称及び代表者名

株式会社 イヌイエコシステム

代表取締役社長 乾 嘉晃
- (2) 所在地

本社(登記上)

和歌山県橋本市神野々40番地の3

本社・中間処分場・積替保管施設・建設発生土処分場

和歌山県橋本市神野々40番地の3・45番地の22

かつらぎ支店

和歌山県伊都郡かつらぎ町笠田東310番地の1

九度山営業所

和歌山県伊都郡九度山町九度山1140番地の1
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者

環境部 主任 窪田 裕亮

TEL:0736-39-7002

担当者

総務部 主任 中平 里菜
- (4) 事業内容

一般廃棄物の収集運搬、産業廃棄物の収集運搬(積替え保管含む)及び中間処分、建設発生土処分、土木工事・建設工事の施工
- (5) 事業の規模

法人設立

2006年2月

資本金

1,000 万円

売上高

2.49 億円 2024年1月～12月

	事務所	工場	収集運搬員	合計
従業員	5 名	6 名	8 名	19(役員含む24) 名
面積	60 m ²	438 m ²		

受託した廃棄物の処理量(2024事業年度)			
収集運搬量(一般廃棄物)	3,296 t	収集運搬量(産業廃棄物)	749 t
中間処分量(産業廃棄物)	80 t	うち再資源化量	80 t
他事業者への直送分	1,422 t		

車種	台数	備考
パッカー車	6 台	2t塵芥車3台、3t塵芥車2台、4t塵芥車1台、6t塵芥車1台
フックロール車	3 台	3tフックロール1台、4tフックロール2台
ユニック車	1 台	3tユニック車1台
トラック	2 台	1.5tトラック1台 2tトラック1台
軽車両	4 台	軽トラック2台、乗用車3台
ダンプ	1 台	10tダンプ1台
合計	16 台	

名称	台数	備考
減容圧縮機(金属・廃プラ)	1 基	廃プラ257.6kg/日、金属くず1689.6kg/日
タイヤシャベル	1 台	排ガス基準2014年適合車、低騒音型
フォークリフト	2 台	
コンボ	3 台	排ガス基準2014年適合車、低騒音型
		0.2m ³ ×1 0.25m ³ ×2

保管面積	保管上限	備考
169.1m ²	260.6m ²	屋内、屋外保管及び容器保管

□認証・登録の対象組織・活動

- 登録組織名:

株式会社 イヌイエコシステム
- 対象事業所:

本社・積替え保管施設・中間処分場・建設発生土処分場

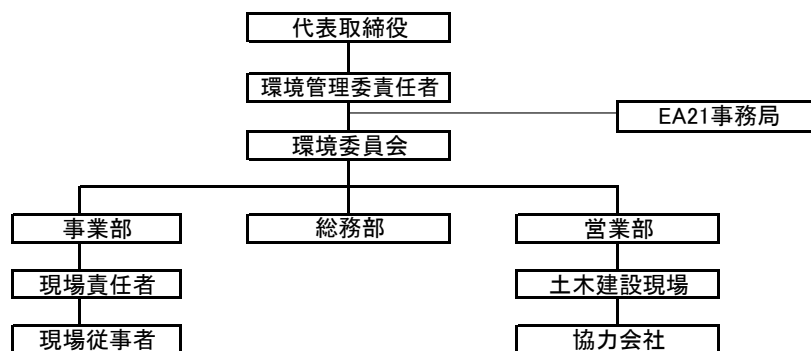
かつらぎ支店

九度山営業所
- 活動:

一般廃棄物の収集運搬、産業廃棄物の収集運搬(積替え保管含む)及び中間処分、建設発生土処分、土木工事・建設工事の施工

□事業の紹介





	役割・責任・権限
代表取締役(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
環境委員会	・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
総務部	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

許可の内容

一般廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	有効年月日	備考
和歌山県橋本市	第3号	令和4年3月23日	令和8年3月31日	
和歌山県かつらぎ町	第1号	令和5年11月11日	令和7年11月10日	

産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	有効年月日	積替保管	廃棄物の種類														
					①燃え殻	②汚泥	③廃プラスチック	④木くず	⑤紙くず	⑥繊維くず	⑦ゴムくず	⑧ガラス・コンクリ・陶器くず	⑨がれき類	⑩廃油	⑪廃酸	⑫廃アルカリ	⑬金属くず	⑭動植物性残さ	⑮鉱さい
和歌山県	30 12 126376	令和3年4月26日	令和8年4月9日	有		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
奈良県	29 00 126376	令和3年4月27日	令和8年4月26日	無		○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	
大阪府	27 00 126376	令和3年4月24日	令和8年4月23日	無		○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	
京都府	26 00 126376	令和5年7月19日	令和10年7月18日	無		○	○	○	○	○	○	○	○	○			○		
三重県	24 00 126376	令和5年12月7日	令和10年12月7日	無		○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	保 管 替	廃棄物の種類														
和歌山県	30 52 126376	令和1年8月5日	令和6年8月4日	無	⑪	⑫													

産業廃棄物処分業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	有効年月日	事業の範囲	廃棄物の種類														
和歌山県	030 22 126376	令和4年4月28日	令和9年4月17日	中間処理 圧縮	③	⑬													

建設発生土処分場指定通知書

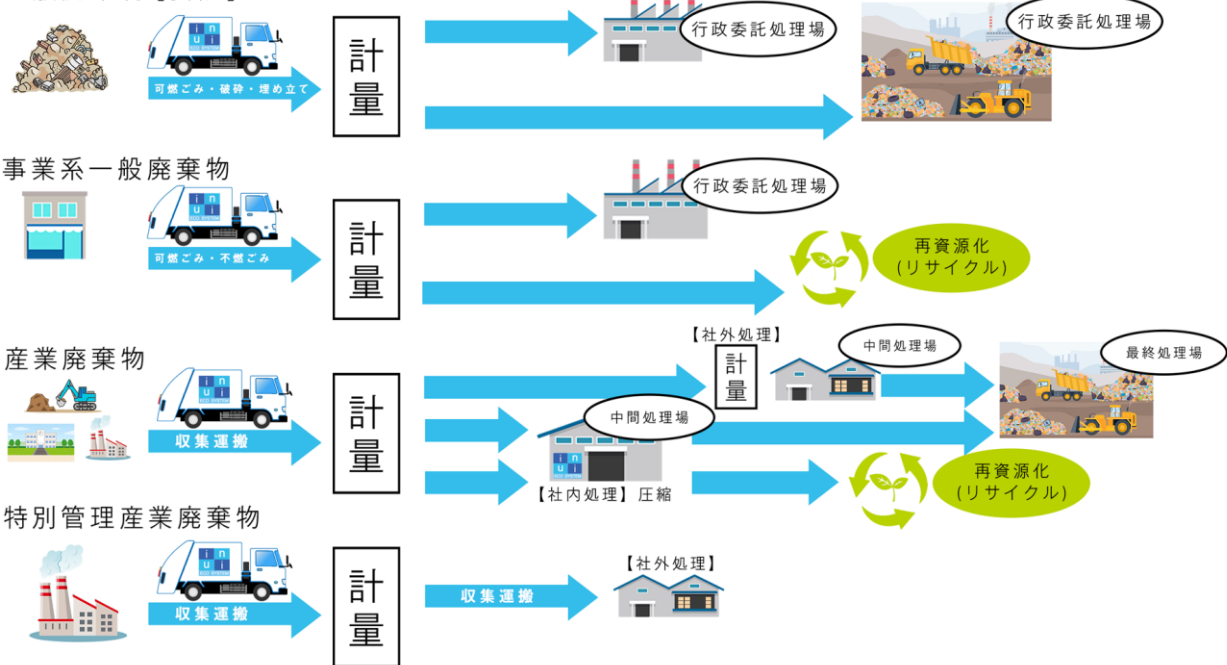
許可区域	許可番号	許可年月日	有効年月日
和歌山県	第1351号	平成27年4月13日	指定なし

一般建設業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	有効年月日	建設業の種類
和歌山県	第16358号	令和5年5月8日	令和10年6月25日	土木工事業・石工事業・舗装工事業・水道施設工事業・とび土工事業・鋼構造物工事業・しゅんせつ工事業

廃棄物処理フロー

一般廃棄物【委託】



□主な環境負荷の実績

P7

項 目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	110,575	143,941	145,154
自らの廃棄物排出量	t	117	207	2
一般廃棄物排出量	t	0.99	0.97	0.36
産業廃棄物排出量	t	117	206	2
建設発生土処分量	t	2818.6	1,852	1,622
水使用量	m ³	510	219	244

※二酸化炭素排出係数 0.309 kg-CO₂/kWh 2017年度関電調整後排出係数
※化学物質の使用はありません

□環境経営目標及びその実績

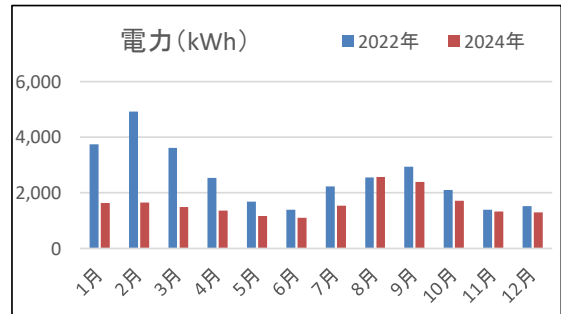
評価は目標と実績とで行なった

年 度		基準値	2024年		評 価	2025年	2026年
項 目		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	9,470	9,376	5,952	○	9,281	9,186
		2022年	99%	63%		98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	211,391	209,277	139,202	○	207,163	205,050
		2022年	99%	67%		98%	97%
上の二酸化炭素排出量の合計	kg-CO ₂	220,861	218,653	145,154	○	216,444	214,236
		2022年	99%	66%		98%	97%
自社の一般廃棄物の削減	kg	970	951	360	○	941	931
		2022年	98%	37%		97%	96%
建設混合廃棄物の削減	kg	2,148	2,127	866	○	2,105	2,084
		2022年	99%	73%		98%	97%
受託廃ペットの出荷量の向上	トン	24	24	30	○	24	25
		2022年	101%	126%		98%	97%
水道水の削減	m ³	219	215	335	×	212	212
		2022年	98%	114%		97%	97%
顧客件数の増大	件	120	121	132	○	122	124
		2022年	101%	109%		102%	103%
環境に配慮した収集運搬	行動目標(次項による)						
環境保全活動	行動目標(次項による)						

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	使用するPCや機材も増え、それに伴い電力の使用量は増加している。ただ事務所内でも各部屋に合った温度に調整し過度な空調使用にならないよう全員で意識し取り組むことができていた。工場やトイレでも電気の消し忘れなどは必ず申し送りをし、かなり徹底できていた。これを継続し全員が意識し続けることができるよう努める。
・空調の適温化(冷房20℃ 暖房28℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・必要時のみのエアコンの使用	○	
	○	



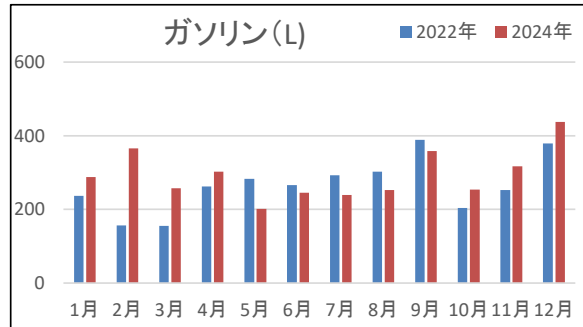
取組紹介欄



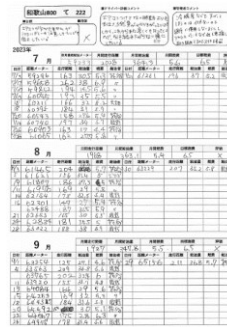
消し忘れの多い箇所に不要照明の消灯を促す掲示物を設置。都度起こったことを報告、対策を考えている。マンネリ化(風景化)しないよう、デザインなどを都度変更している。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2022年	3,741	4,927	3,623	2,532	1,680	1,397	2,235	2,559	2,933	2,108	1,398	1,515
2024年	1,634	1,658	1,497	1,354	1,163	1,096	1,531	2,574	2,398	1,718	1,335	1,304

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	
・エコドライブ10のすすめの徹底	○	
・効率的な運行計画に基づいた道順の確認	○	
・効率よく作業を行うために計画周知(待機時間)	○	

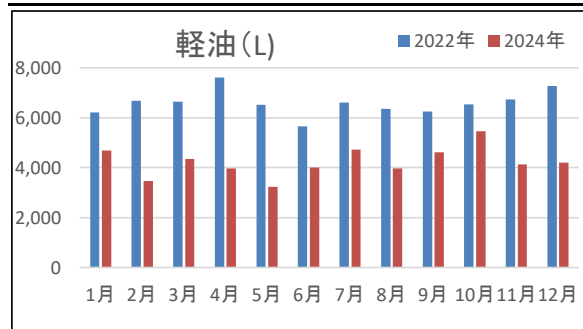


取組紹介欄



全車両に担当をつけ、燃費管理表に給油毎に記録を行っている。それぞれの目標をたて、他部署からも評価コメントもあり。数字にするとよく見えてくるところがあり会議で燃費がよくなるよう定期的に見直し実施している。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2022年	236	157	155	262	283	266	293	302	389	204	252	379
2024年	288	366	257	302	202	245	239	253	359	254	317	438



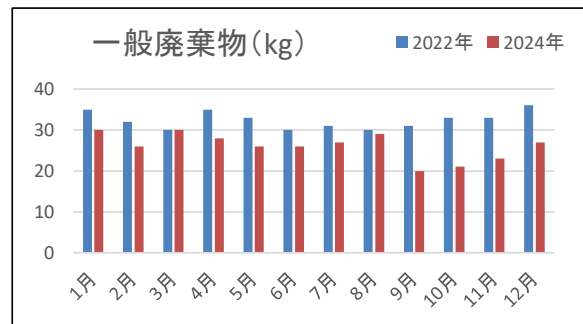
取組紹介欄



ガソリン同様、軽油車両にも燃費管理表を使用している。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2022年	6,221	6,677	6,649	7,610	6,523	5,651	6,601	6,362	6,253	6,534	6,731	7,264
燃費												
2024年	4,678	3,470	4,340	3,977	3,228	3,997	4,728	3,964	4,620	5,459	4,123	4,205
燃費	3	5	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0

自社の一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	
・分別の徹底	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・4MY活動の推進	△	



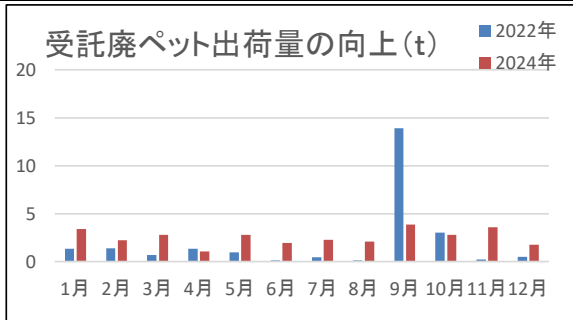
取組紹介欄



iPadで「OneNote」アプリを使用し、リアルタイムで会議資料を全体に共有。人数分の資料を印刷するなどが無くなり、ペーパーレスかつスムーズに会議や伝達を行うことができるようになった。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2022年	35	32	30	35	33	30	31	30	31	33	33	36
2024年	30	26	30	28	26	26	27	29	20	21	23	27

受託廃ペットの出荷量の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	エコキャップを通じ、地元や県外からも反響があり分別をしてくれるところが増え、かなり多くなった。「分別をした」「エコキャップに使う」などのお声がけをいただくことも増え、今まで色々な方法で分別のお願いをしてきたが、一番皆さまに周知して協力していただくことができた。これからももっと周知していただき、ペットボトルだけでなく他の廃棄物についても意識してもらえようアプローチ法を検討する。
・排出先の分別徹底の依頼	○	
・選別の徹底	○	
・リサイクル先の開拓	○	



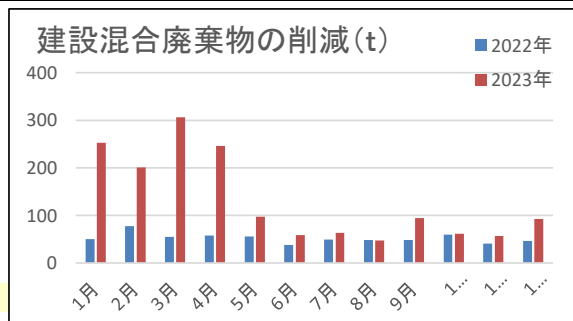
取組紹介欄



エコキャップ運動についてのチラシを作成。営業時にも使用。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2022年	1	1	1	1	1	0	0	0	14	3	0	1
2024年	3	2	3	1	3	2	2	2	4	3	4	2

建設混合廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	直接建設廃材には関係ないが、イベント時にオリジナルの分別ごみ箱を設置。そのごみ箱に回収された後どのように処理されるのか、リサイクルされるのかなどを掲載し、分別に意味があることを呼びかけた。またそのごみ箱よりヒントを得てイベント用のレンタルごみ箱(リサイクル内容などが記載されている)を始めた。そのようなところからも分別を意識してもらえるきっかけにもなった。
・排出先の分別徹底の依頼	○	
・選別の徹底	○	
・リサイクル先の開拓	○	



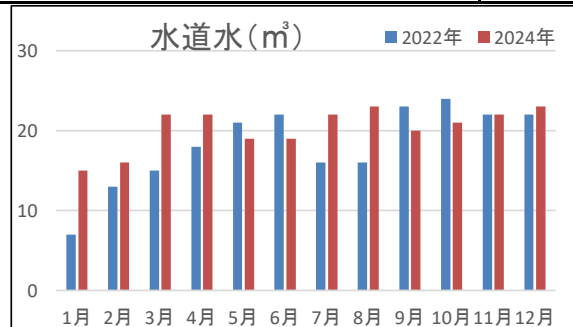
取組紹介欄



イベント用レンタルごみ箱を開始。リサイクルできるものにはどのようなものがあるかなど捨てる際に目にとまるようデザインを作成した。色々なイベントで声をかけてくださった。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2022年	50	78	55	58	56	38	49	48	48	59	40	46
2023年	252	201	306	246	98	59	63	47	94	62	57	92

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	今期2回だけだが水道水の出っぱなしがあり、どちらも掃除の為に使用したものだ。担当の割り振りと手順をもう一度見直し、再発防止に努めた。
・節水ポスターの掲示	○	
・井戸水の活用	○	
・漏水点検	○	



取組紹介欄



蛇口の近くで視覚に入る位置に貼ることで、注意喚起をし社員全員の意識の改善に取り組んだ。意識し、声を掛け合えることへもつながる。定期的に節水についての注意喚起を促す(会議時)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2022年	7	13	15	18	21	22	16	16	23	24	22	22
2024年	15	16	22	22	19	19	22	23	20	21	22	23

環境・安全に配慮した建設工事	達成状況	取組結果とその評価、次年度取組内容
・工事現場内におけるアイドリングストップ	○	今期の工事現場ではアイドリングストップを始めとする左記の目標を全員に周知し取り組んだ。
・工事現場内における周辺の片づけ	○	
・型枠等は国産材間伐材の使用	○	
・熱中症予防対策の実施	○	

環境に配慮した収集運搬	達成状況	取組結果とその評価、次年度取組内容
・作業開始前の車両点検	○	10月に新しい車両が入り、担当などを見直した。継続して環境に配慮できるよう取り組む。
・収集時の取り残しを削減	○	
・環境に配慮した廃棄物処分	○	
・地域環境に配慮する	○	

顧客件数の増大	達成状況	取組結果とその評価、次年度取組内容
数値目標	○	イベントやHPリニューアル、エコキャップ運動で今までと異なる層の方よりお問合せをいただくことがかなり増えた。インスタや公式LINEなど様々なSNS等の発信方法を活用し、弊社を知ってもらい顧客獲得につなげたい。
・営業力の強化	○	
・ホームページによる顧客獲得	○	
	△	

取組紹介欄



イベントの様子

地域の環境保全活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度取組内容
・会社周辺の清掃	○	前年度同様、「不法投棄巡回パトロール」に参加。継続した会社周辺の清掃。新たに「エコキャップ運動」をはじめ、地域の方々も一緒に環境問題について触れてもらう機会も増えたのではないかと思います。
・地域の環境保全活動参加	○	

取組紹介欄



不法投棄巡回パトロールの様子

環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	判定
廃棄物処理法	許可証、契約書、マニフェスト、マニフェスト交付状況等報告書	○
建設業法	許可証、契約書、工事監理者証、入札参加資格、施工要領書	○
大阪府条例(流入車規制)	収集運搬車	○
騒音規制法	特定建設作業の事前届け出: 指定地域内、工事開始7日以前	○
振動規制法	特定建設作業の事前届け出: 指定地域内、工事開始7日以前	○
オフロード法	重機の日常点検、特定自主検査	○
フロン排出抑制法	重機に搭載されたエアコンの簡易点検	○
建設発生土処分場指定要綱	報告書、関連条例による土壌検査26項目	○
消防法	自家用火災警報装置、消火器	○
橋本市との災害時廃棄物協定	災害時発生一般廃棄物の処理に関する協定	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
 なお、違反、訴訟等は過去3年間(あるいはこれまで)ありませんでした。

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2024年12月12日	■実施場所： イヌイエコシステムリサイクルセンター
■参加者： 代表取締役 環境管理責任者 環境部 総務部主任 従業員	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、反省
■評価：	手順書の変更の必要性 □ あり ☑ なし
消火器の使用期限日が近くなっていたので、新たに消火器を購入・設置。新入社員や部署移動があった作業員もいる為、改め消火器や水道がある場所、シャッター解放装置などについて確認した。知らない作業員もあり、毎年の訓練だけでなく入社したり部署移動した時点での説明を怠らないよう対策が必要となった。	
■実施状況の様子	
	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

エコアクションに取り組むことにより、普段業務をこなすだけでは気づけなかった点を発見することができ、どのように対策していけばいいのかを各部署や全体で考え一丸となり取り組むことができた。業務内でそのような取組を行うことによりそれぞれの私生活でも意識する機会ができたのではないと思う。時代が進むにつれ、様々な電子化や流行りがあり、それらを活用すると共に環境活動ができるようSNSの活用にも力を入れ知名度や活動内容を発進するとともにペーパーレスや節電にもっと繋げていくことができたらと思う。SNSも使い方一つで弊社が先陣となって環境活動を推進し地域で取り組むこともできるのではないかと考えている。まず弊社でのSDGsの達成に取組み、それと同時に外部にも影響を与えることができるよう発進していくこと。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり

□これまでの環境活動の紹介

弊社では、One for All, All for Oneの精神で業務やエコアクションの活動をしています。みんなが一丸となり、節水やごみの削減、車両から発生するCO2の削減等に取り組んでいます。節水をするにあたり、社用車、工場内の清掃をする時には井戸水を使用しています。収集運搬時には、アイドリングストップを常に意識し、燃料の節約をするとともにCO2排出を抑えよう心がけています。社内のごみを減らす為に、4MY活動の一環として飲み物、箸を持参しごみの排出も減らすように努力しています。また、エコアクション21の取得に向け、家庭や公共施設でもCO2削減を意識しています。地域の清掃活動にも積極的に参加し地域住民とコミュニケーションも図り、地域社会と連携しています。

環境管理責任者 窪田



ごみの収集運搬時に効率よく回収できるよう回収ルートの見直しや運搬車両の台数を減らすことにより車両から発生するCO2排出量の削減に努めています。また、回収以外で車から離れる際には、アイドリングストップを行っています。週に2.3回会社周辺の道や溝を掃除をしたり、地域の清掃活動に参加し地域と連携して美化活動を行っています。

環境委員会 辻

工場内では、使わない重機はエンジンをこまめに切るようにしています。洗車をする時には水道水を使わずに井戸水を使うように意識しています。必要がない灯りは、消すようにし日中は自然の光で業務をするようにしてCO2削減に努め、1日のスケジュールを確認して無駄な時間を減らせるように考えながら、業務を行っています。今回のエコアクションの活動を通して、プライベートでもエコを意識するようになりました。

産廃部 竹本



●建設工事の様子

